

総合的な学習の時間 「やさしい南野川の町に」

川崎市立南野川小学校



単元（題材）目標

- 体験学習や介護施設交流を通して、自分の身の回りには様々な人がいることを知り、相手のことを考えて接していける態度を身につける。

(1) 実施時期 9月27日（水）

(2) 対象（学年等・人数） 第4学年 75名 学校教員 2名

(3) 指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：2名

外部講師：市内ボランティアサークル「手の花会」4名

(4) 実施内容

- 講演「聞こえないってどういうこと？」
 - ・ 学校名を手話で表す
 - ・ ろう学校の説明（みんなの学校との違いなど）
 - ・ 日常生活の様子、災害時のお願い
 - ・ もし、困っているろう者を見かけたら（寸劇）
- 各クラスで体験学習
 - ・ 3人1組でコミュニケーションを体験する（口話・身振り・空書・指文字）
 - ・ 手話を使ってみる
 - ・ 質問の時間

(5) 成果

- 実際にろう者の方に来ていただいたことで、日常生活の様子やろう学校の話聞くことができ、児童のろう者に対する「大変そう・苦勞が多そう」という後ろ向きなイメージを「とても前向きに生活している・手話ができてすごい」という前向きなものに変えることができた。
- 本やDVDだけでなく、生きた手話を学び、楽しく学習することができた。

(6) その他

体験学習の事前、事後に調べ学習の時間を設定した。